MW8

経管栄養シミュレータ
（経鼻・経口・胃ろう）

Tube Feeding Simulator
(NG, OG and PEG)

⚠注意 | モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

⚠Caution | Don’t mark on the model and other components with pen or leave printed materials contacted on their surface.
Ink marks on the models will be irremovable.

取扱説明書
Instruction Manual

目　次／Contents

● 日本語取扱説明書 ····· P.1〜P.14

● English Manual ····· P.17〜P.30

KYOTO KAGAKU CO.,LTD

⚠注意 モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

MW8

経管栄養シミュレータ
（経鼻・経口・胃ろう）

取扱説明書

目　次

● はじめに …… P.1
製品の特徴とご使用上の注意
● ご使用の前に …… P.2
セット内容
● 実習の準備（ベッドでの実習）…… P.3～P.4
● 実習の準備（テーブルでの実習）…… P.5～P.6
● 実習にあたって …… P.7～P.8
● ご使用後の後片付け …… P.9～P.13
● 故障かなと思ったら …… P.14

株式会社 京都科学

● はじめに

このたびは、当社の「経管栄養シミュレータ」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は、経管栄養法（経鼻・経口・胃ろう）手技上達を目的としたシミュレーションモデルです。医学・看護教育の実習教材としてご使用ください。

必ずお読みください

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また、取扱説明書に記載された方法以外でのご使用による万一の破損や事故に関して、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

特　長

- 半座位の姿勢で、カテーテルの挿入や栄養剤投与といった実習が可能です。
- 経鼻栄養カテーテルや胃ろうカテーテルの位置確認に関する実習は、心窩部での気泡音聴取や注入器での胃液の吸引が可能です。（実際の胃液を吸引する事はできません）
- 解剖学的に正確な内部構造を再現し、本体の透明部分からは目視により、経鼻・経口よりのカテーテルルートや位置の確認を可能にしました。
- 実際に使用されている栄養剤の注入が可能です。

⚠ 注意

● 取り扱いにご注意ください。

特殊軟質樹脂を使用していますので、落下や強い衝撃を与えると破損の原因となります。また皮膚部の脱着の際、無理な負荷がかかりますと破損しますので十分ご注意ください。

● 中性洗剤又はアルコールで拭き取ってください。

モデルの汚れは水又は中性洗剤で、汚れが落ちにくい場合はアルコールで拭き、ベビーパウダーを塗布しておいてください。シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

● 印刷物をモデル表面におかないでください。

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

● ボールペンやサインペンで書き込まないでください。

サインペン、ボールペンなどでモデルに書き込むと、インクが吸収されて消えなくなります。

● 高温多湿を避けて保管してください。

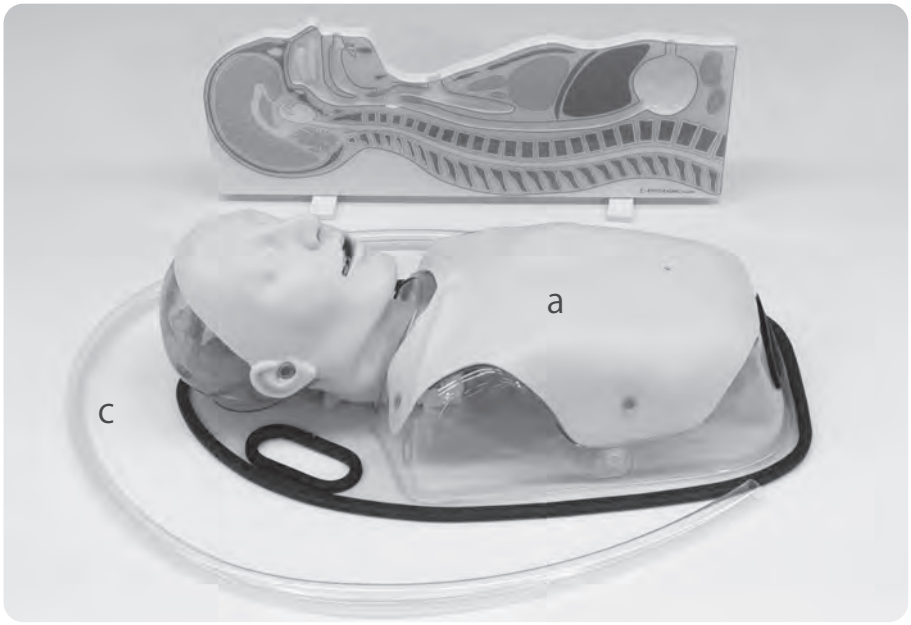
使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。
変形や故障の原因となります。

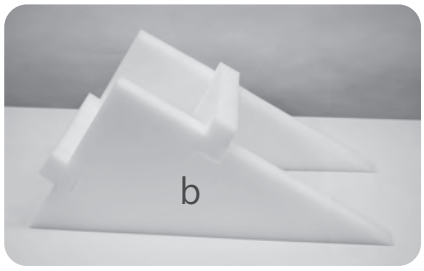
● 表面が変色する場合があります。

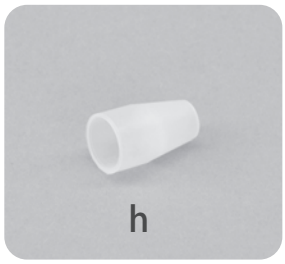
長期間使用されない場合や経年変化で変色することがありますが、ご使用には差し支えありません。

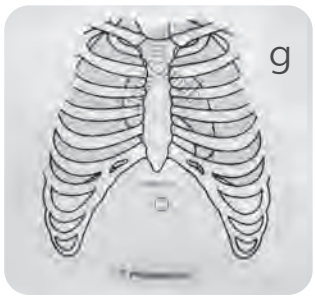
セット内容と各部の名称

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。









※経管栄養胸部シートは肋骨や肺、心臓、気管などの位置を透明シートに表示したもので、皮膚をはずしたモデル本体にかぶせて、解剖学的な骨格や臓器の位置関係を確認できる実習前の事前学習用のシートです。

a. モデル本体 ……1台
b. 支持台（30° 設定）……1式
c. 排水用ホース ……1点
d. 漏斗 ……1点
e. ディスポカップ……1点
f. 経管栄養ルートモデル……1台
g. 経管栄養胸部シート ……1点
h. 栓……1点
　潤滑剤 ……1点
　取扱説明書

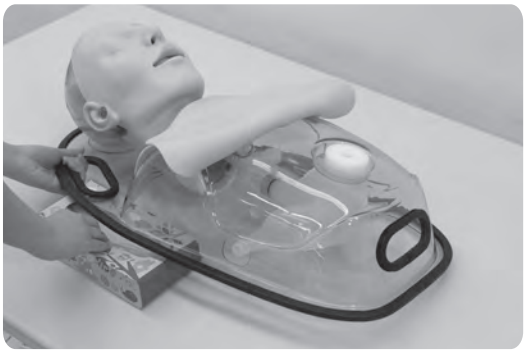
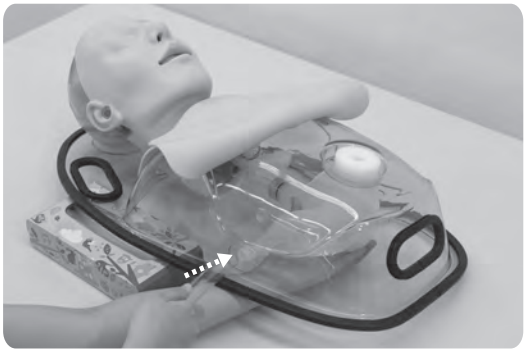
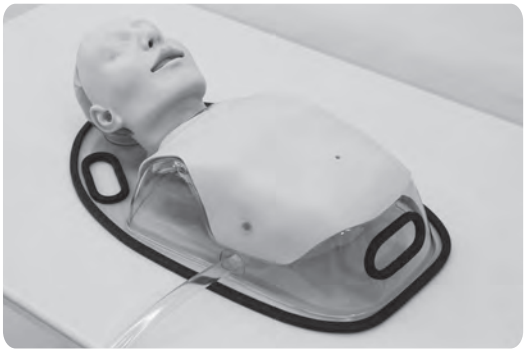
① ベッドでの実習

1. 排水用ホースをモデル本体の胃のホース接続部に接続します。

（ア）まずモデル本体より皮膚部をはずして胃の部分が見えるようにします。

（イ）次にモデル本体の手前側を少し持ち上げ、胃を片手で持って本体側面から排水用ホースをつなぎます。排水用ホースは根元までしっかり差し込んでください。

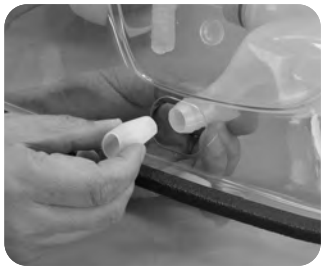
（この時、本体を持ち上げたところに箱など（例：ティッシュペーパーの箱など）を差し込で作業をしていただくと、本体内部の胃が持ちやすくなります。）

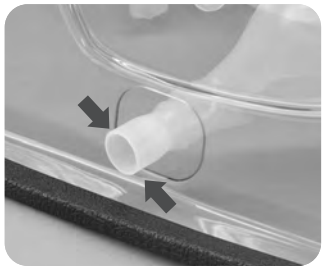




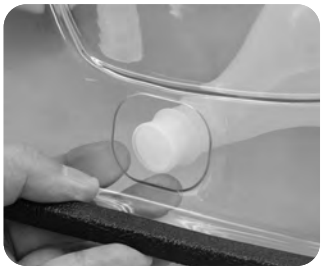
注意

排水ホースの接続時に、胃を持ったままモデル本体の外枠を持ち上げないでください。胃と胃ろう部の蓋が外れてしまう恐れがあります。

※バンパー型の胃ろうを使用する場合や、栄養剤を使用しないで気泡音の確認や胃液の採取のみを行う場合は、排水用ホースの代わりに附属の栓を取り付けてください。

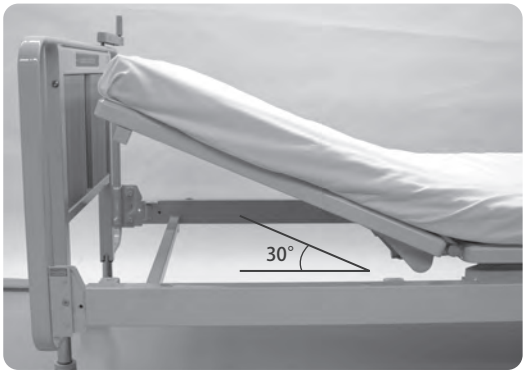

栓をしっかりと差し込みます。

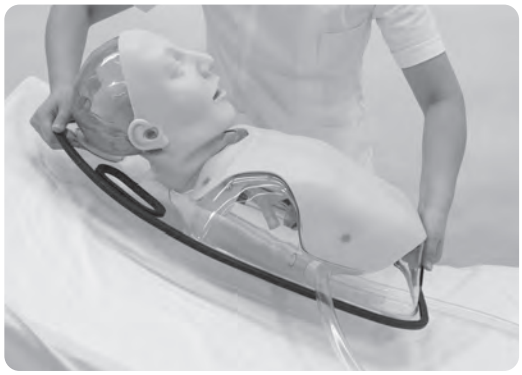

栓の周囲を折り返します。


取付完了。

① ベッドでの実習

2. ベッドを 30 度に挙上し、それからモデル本体をセットしてください。





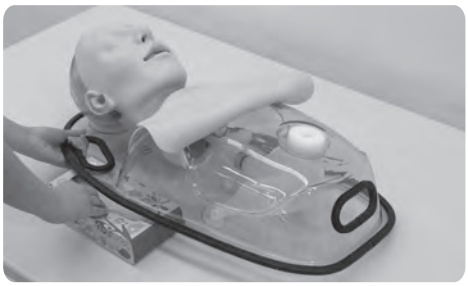
3. 排水用ホースをバケツに入れてください。バケツは別途準備してください。

4. 胃に水を注入します。皮膚を取り外して漏斗を胃ろう部の穴に差し込み、水約300ccを入れてください。胃に水を注入後、取り外した皮膚をボディに取り付けて準備完了です。

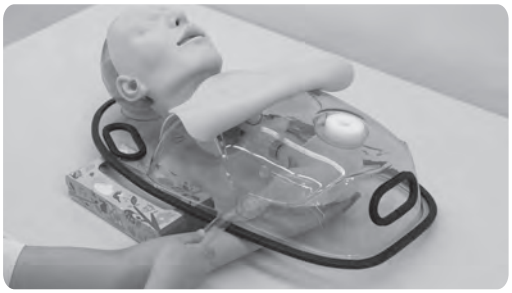
※栓を使用してバンパー型胃ろうを使用する場合は、先端のバンパー部分が隠れるまで胃に水を入れてください。

② テーブルでの実習の場合

1. 排水用ホースをモデル本体の胃のホース接続部に接続します。
（※ここまではP3「ベッドでの実習」と同じ作業です。）



皮膚部を外しモデル本体の下に箱などを差し込みます。



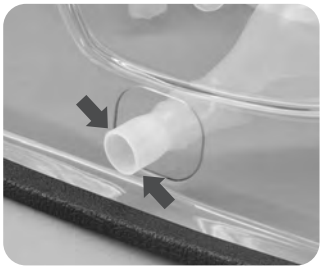
胃の部分を下から持ち。排水ホースを差し込み、皮膚をモデル本体に取り付けます。

注意

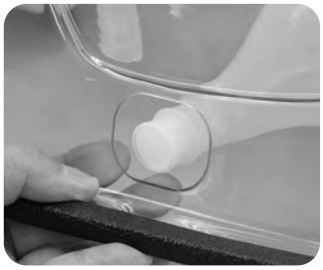
排水ホースの接続時に、胃を持ったままモデル本体の外枠を持ち上げないでください。胃と胃ろう部の蓋が外れてしまう恐れがあります。

※バンパー型の胃ろうを使用する場合や、栄養剤を使用しないで気泡音の確認や胃液の採取のみを行う場合は、排水用ホースの代わりに附属の栓を取り付けてください。

栓をしっかりと差し込みます。

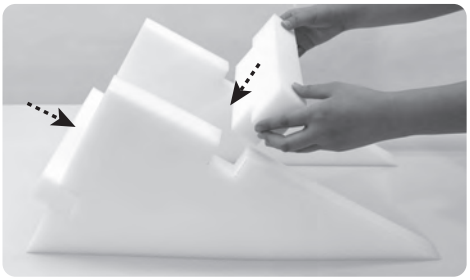


栓の周囲を折り返します。



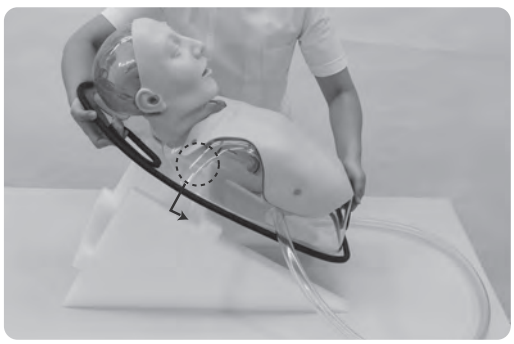
取付完了。

2. 支持台を組み立てます。



三角形の板2枚を平行に並べて、切り込み2か所に支持用固定具を取り付けます。

3. 作成した支持台の上にシミュレータを設置します。



○印部分が支持具にあたるようにして、モデル本体を三角形の角度に合わせて置いてください。

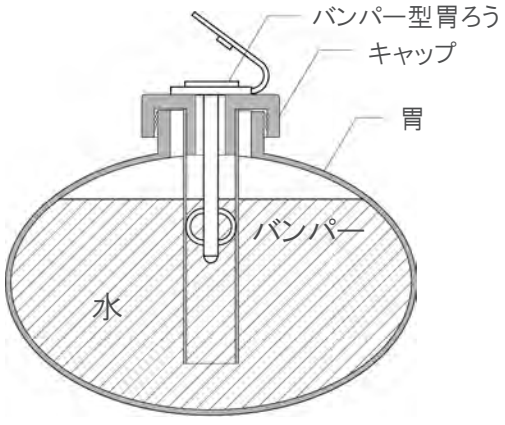
② テーブルでの実習の場合

4. 排水用ホースをバケツに入れてください。バケツは別途準備してください。

5. 胃に水を注入します。皮膚を取り外して漏斗を胃ろう部の穴に差し込み、水約300ccを入れてください。胃に水を注入後、取り外した皮膚をボディに取り付けて準備完了です。

バンパー型胃ろうを使用する場合

※栓を使用してバンパー型胃ろうを使用する場合は、先端のバンパー部分が隠れるまで胃に水を入れてください。



① 経鼻経管栄養法

1. カテーテル挿入

経鼻栄養カテーテルを挿入するときは、カテーテルとモデル本体の鼻腔内に潤滑剤を十分に塗布してください。不十分だと挿入が困難になります。潤滑剤は付属のものをご使用ください。ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固して残留する事がありますので使用しないでください。

注意

カテーテルは 14Fr を使用してください。14Fr よりも太いカテーテルを使用しますと、挿入困難になることがあります。
このモデルは、挿入の長さ約 50cm で胃に到達するよう設計されています。

カテーテルのテープ固定を実習される場合、モデル本体の皮膚は樹脂製のため、カテーテル全周を巻き込む固定方法（Ω型固定）はできません。
頬部のテープ固定としては、皮膚の上に土台としてテープを 1 枚貼付した上に、カテーテルを固定する方法が可能です。

1. テープを剥離ライナー（台紙）の切り目が横になるようにおきます（横に伸びる方向です）。それから縦 5cm× 横 4.5cm のサイズとなるよう、テープを 2 枚カットします。そのうちの 1 枚をひと回り小さく切ります。（おおよそ縦 4.5cm× 横 4cm になります。）
2. 皮膚の上に貼付用は大きいテープ、カテーテル固定用は、小さいテープです。
3. 皮膚の上にテープを貼付する際、横の方が縦よりも長くなるように貼付します。そして、カテーテルを固定する際、横の方が縦よりも短くなるように貼付します。

テープ固定をされる際には、マルチポア™ ／マルチポア™ ライトブラウン粘着性綿布伸縮包帯またはマルチポア™ ドライ サージカルテープ（共に 3M 社製品）を推奨いたします。

注意

テープを貼ったままの状態で片付けないでください。長時間貼ったままの状態にすると、モデル本体の表面にテープの粘着剤が吸着し、ベタつきがとれなくなってしまいます。

テープ固定してから栄養剤を投与する場合、数分経過してから実習をしてください。テープの粘着度が高くなり、よりはずれにくくなります。
テープは実習の直前に貼付してください。

② 胃ろう法

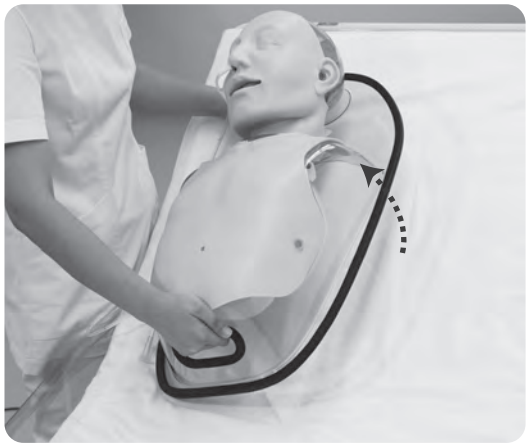
1. 胃ろうカテーテルの固定
このシミュレータでは、カテーテルはシリンジ５ｍｌ程度の空気量で固定してください。蒸留水や水などの液体は使用しないでください。

（※ 5 ml の数値はニプロ社製の 20Fr のボタン型バルーンカテーテルを使用した場合の目安です。他社の製品をご使用の場合はカテーテルが抜けない程度に空気を注入してください。）

③ 栄養剤注入後の処理

1. 栄養剤注入後の処理

経鼻経管栄養法、胃ろう法のどちらも続けて栄養剤注入実習を行う時は、栄養剤 1 パックを注入するたびに、胃の中に貯留している液体を廃棄してください。その際には、まずモデル本体をベッドの端の方に寄せて、両手でモデル本体を手前側に傾け、排水ホースより胃の中の栄養剤を排出してください。それからモデルを元の状態に戻し皮膚をはずしてから、改めて水約 300 ccを胃の中に注入してください。

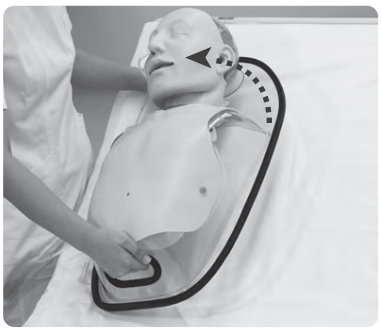


① 胃の中の栄養剤や水の排出

実習後は胃の中にたまっている栄養剤や水を排出します。

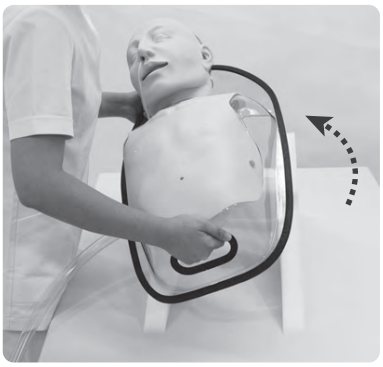
（ベッドでの実習の場合）

モデル本体をベッドの端の方に寄せて両手でモデル本体を持ち、手前側に傾けて排水ホースから胃の中の栄養剤を排出してください。



（机での実習の場合）

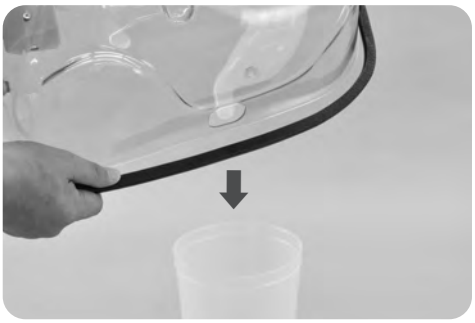
支持台の上に設置しているモデル本体を両手で持ち、手前側に傾けて、排水ホースから胃の中の栄養剤を排出してください。



※栓を使用している場合

栓を上に持ち上げて水がこぼれないように注意しながら抜き、本体を傾けて排水します。

排水した水が、本体周囲の黒いモールを伝わって排水容器外に漏れないようご注意ください。



注意

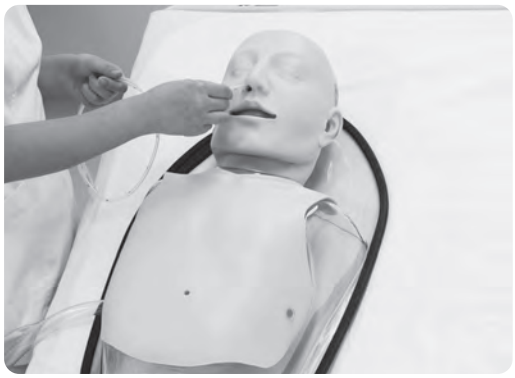
モデル本体を持ち上げて、傾ける場合は十分に注意して行ってください。モデル本体に2か所持ち手部分を設けていますのでご活用ください。

② 栄養カテーテル内の洗浄

栄養剤を注入したカテーテルやチューブを本体より取り外す前に、簡単な洗浄をしてください。

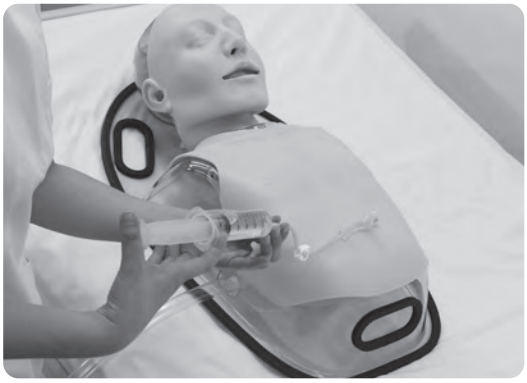
（経鼻栄養カテーテルの場合）

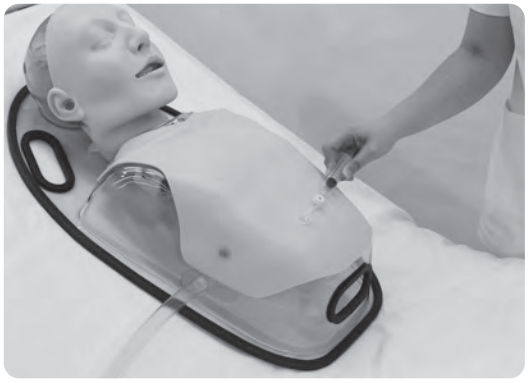
カテーテルチップ型シリンジで、経鼻栄養カテーテル内に微温湯を注入しカテーテル内をきれいにしてください。洗浄後、経鼻栄養カテーテルをモデル本体より抜去します。



（胃ろう栄養カテーテルの場合）

胃ろう接続チューブにカテーテルチップ型シリンジをつなぎ、微温湯を注入してチューブやカテーテル内をきれいにしてください。洗浄後、胃ろう接続チューブやカテーテルをモデル本体より抜去します。





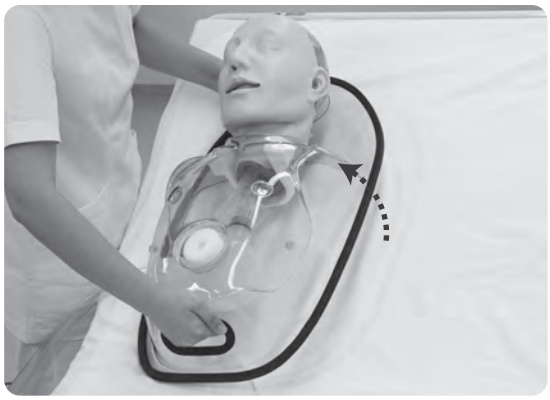
注意

固定した胃ろうカテーテルの場合には、シリンジをカテーテルのバルブにゆっくり差し込み、バルーン内の空気を抜き取り、完全に収縮させます。
そしてゆっくりと慎重に引っ張り、抜去してください。

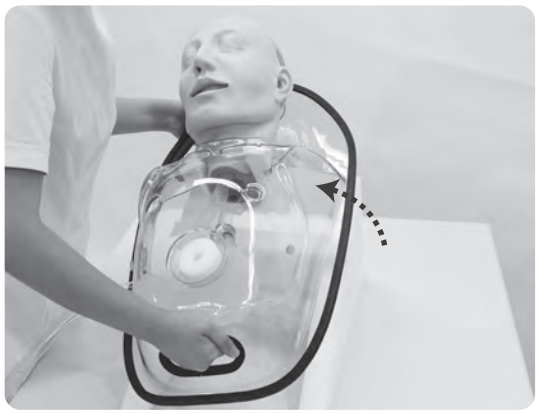
③ 胃の中の洗浄と排水ホースの取り外し

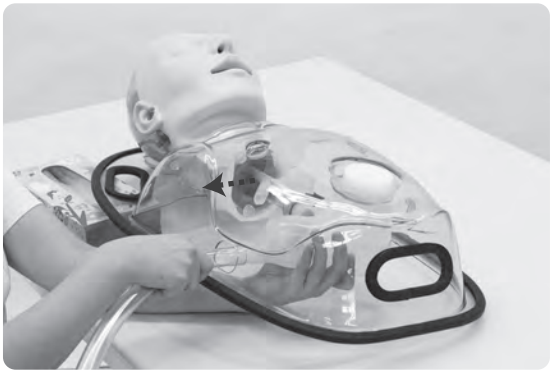
カテーテルの抜去後、改めて胃の中を微温湯で洗浄します。モデル本体を手前側に傾け排水します。排水用ホースから栄養剤が混じっていない透明な液体がでるまで胃の中を洗浄してください。洗浄後排水用ホースを取り外します。

（ベッドの場合）



（机の場合）





洗浄後排水用ホースの取り外しはフラットなテーブル上にモデル本体を移動してからの方が作業は楽に行えます。

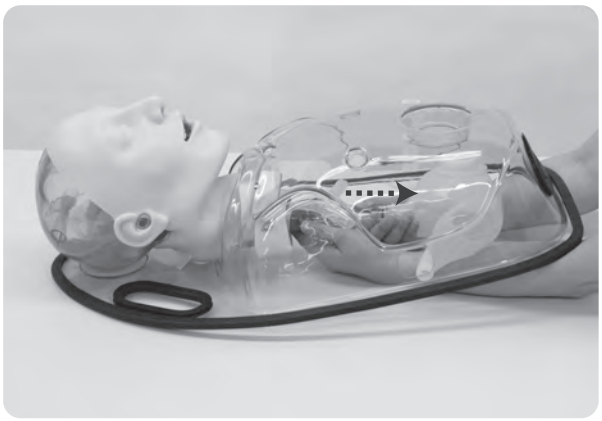
注意

排水ホースの取り外し時に、胃を持ったままモデル本体の外枠を持ち上げないでください。胃と胃ろう部の蓋が外れてしまう恐れがあります。

④ 構成部品の取り外し

1.胃ろう部を反時計回りに回転して、胃部より取り外してください。

2.次にボディの片側を持ち上げ隙間をつくり、食道部を頸部から取り外します。この時片手で頸部を支え、もう一方の手で食道部を持ち、ひっぱりながら食道部をはずします。



3.食道側と胃側のワンタッチジョイント部を持ち、胃部を引っ張って取り出してください。

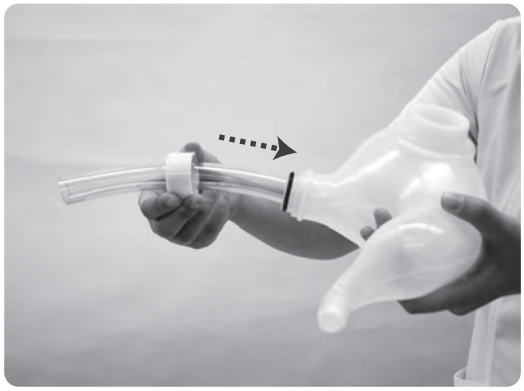
取り外した構成部品

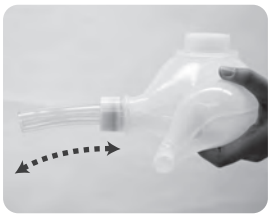
洗浄に関して

部品をふり洗いし、充分乾燥させてください。必要時、次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）で消毒をしてください。（消毒時間や方法は消毒剤のホームページなどをご参考ください）。

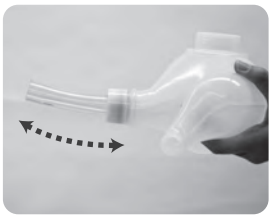
⑤ 部品のセット

1. 胃を取り付けます。食道部チューブの下方向がアールになるように持ちます。食道側のワンタッチジョイントと胃部を持ち、胃の穴に食道部をカチッというまで差し込みしっかり固定してください。



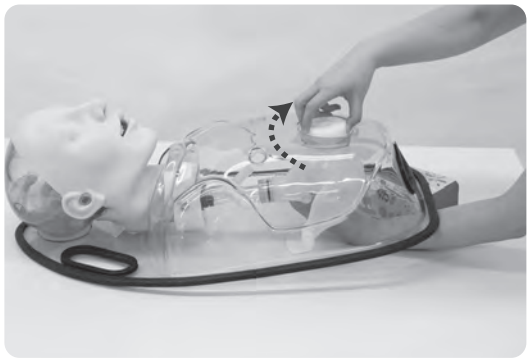


○ 正しい取り付け方向

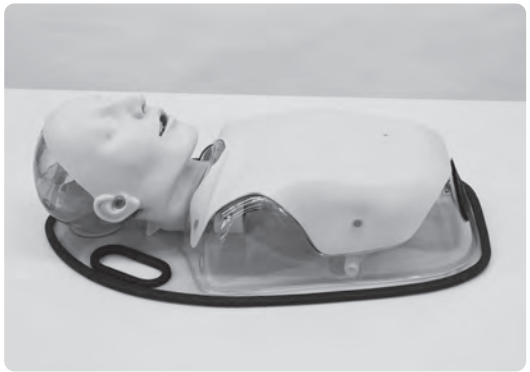


× 誤った取り付け方向

2. 食道部を頸部に差し込むように取り付けます。この時片手で頸部を支え、もう一方の手で食道部を持ちしっかり差し込みます。次に胃部を片手で持ち、胃ろう部を時計回りに回転して胃部に取り付けます。



3. 皮膚を取り付ければセット完了です。各部品のセットはそれぞれ洗浄後十分に乾燥させてから行ってください。



故障かな？と思ったら

修理依頼前の確認

ご使用中にトラブルが発生した場合は、下の表にしたがって確認して下さい。それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店もしくは㈱京都科学（TEL075-605-2510 又は 03-3817-8071）までご連絡ください。

症状	原因	対策・対処
カテーテルが挿入できない。	カテーテル径が、推奨しているカテーテルよりも太い。	実習用の栄養チューブは14Fr、胃瘻カテーテルは20Frを使用してください。
	カテーテルに潤滑剤を塗布していない。	カテーテルとシミュレータの鼻腔内に、当社が指定する潤滑剤をご使用ください。
気泡音が聞こえない。	胃に水を注入していない。	胃に水を約300cc注入してください。
	胃ろうカテーテルを空気でバルーン固定 していない。	胃ろうカテーテルを空気でバルーン固定してください。
	食道部の取り付け角度が誤っている。	食道部の取り付け角度を確認し、再度食道部と胃部を取り付けてください
胃液の吸引ができない。	○バルーン型胃ろう 胃に水が入っていない	胃に水を約300cc入れてください。
	○バンパー型胃ろう バンパー部分まで水が入っていない。	バンパー部分が隠れるまで水を入れてください。
胃液を吸引できるが、濁った色である。	前回の実習で使用した栄養剤が胃に残っている。	栄養剤を１パック注入するたびに、モデル本体を手前側に傾けて、胃に貯留している液体を廃棄してください 。それから水を約300cc注入してください。
胃や排水ホースに汚れが付着して取れない。	前回の実習後の洗浄で栄養剤を落とし切れておらず、細菌汚染されている。	新しい部品に交換してください。

⚠Caution | Don't mark on the model and other components with pen or leave printed materials contacted on their surface.
Ink marks on the models will be irremovable.

NW8

Tube Feeding Simulator
(NG, OG and PEG)

Instruction Manual

Contents

● Introduction
Set includes/DOs and DON'Ts ····· P.16

● Before you start
set includes ····· P.17
Preparation (on the bed) ····· P.18-P.19
Preparation (on the table) ····· P.20-P.21

● Training
Training procedure ····· P.22-P.23

● After Training ····· P.24-P.28

● Trouble shooting ····· P.29

KYOTO KAGAKU co.,LTD

Introduction

Manufacturer's note

This Tube Feeding model (MW8) is a training model for teaching and learning Tube Feeding (Intranasal, Oral and PEG) technique in medical and nursing situation.
This training model is designed for training in medical and nursing education.

Read the instruction carefully before use.

Any other use, or any use not in accordance with the enclosed instructions, is strictly discouraged. The manufacturer cannot be held responsible for any accident or damage resulting from such use.
Should you have any questions on this simulator, please feel free to contact our distributor in your area or KYOTOKAGAKU at any time. (Our contact address is on the back cover of this manual)

● Features

- Training for inserting the catheter and feeding nutrients with Fowler' s position.
- Confirming the placement of the feeding tube or PEG tube by auscultating epigastrium and aspirating stomach fluid (water).
- ransparent body allows to see anatomically correct internal structure and confirm the catheter route is right or not.
- Actual nutrition can be used for this training model.

⚠ DOs and DON'Ts

DOs

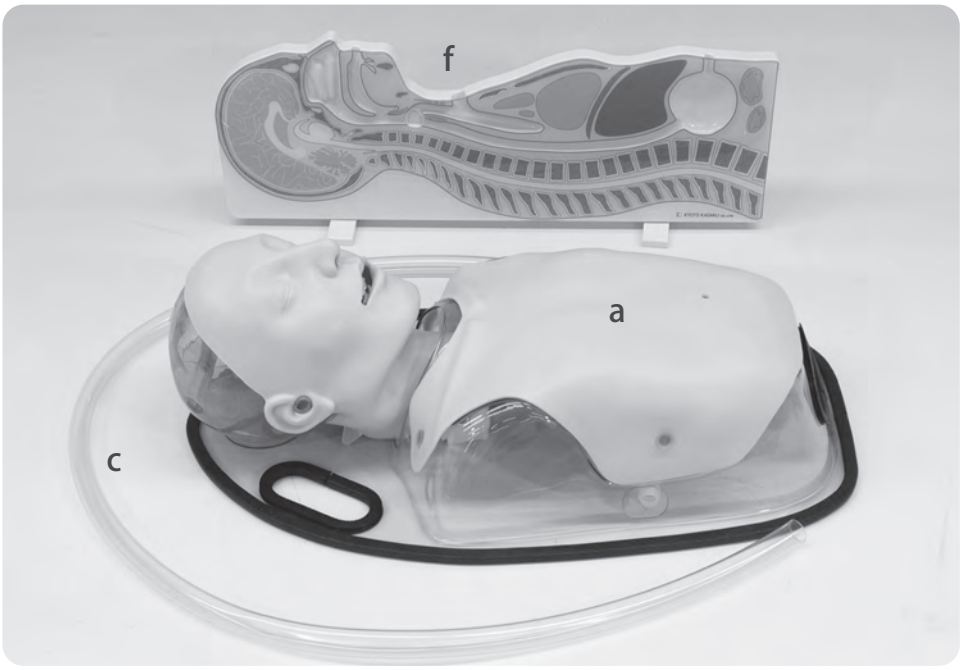
- Handle the manikin and the components with care.
- Talcum powder may be used on the manikin after use to preserve suppleness of the skin and prevent it from being stained.
- Storage in a dark, cool space will help prevend the skin colours from fading.
- The manikin skin may be cleaned with a wet cloth, if neccessary, using mildly soapy water or diluted detergent.

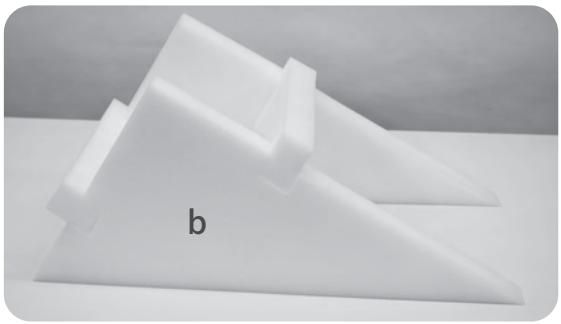
DON'Ts

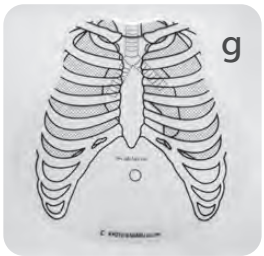
- Do not let ink from pens, newspapers, this manual or other sources come in contact with the manikin, as they cannot be cleaned off the manikin skin.
- Never use ethanol or organic solvent like paint thinner to clean the skin, as this will dameage the simulator.

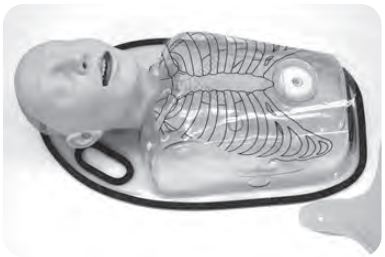
Set Includes

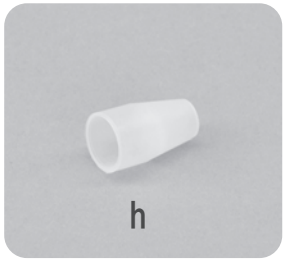
Before your first use, ensure that you have all components listed below.









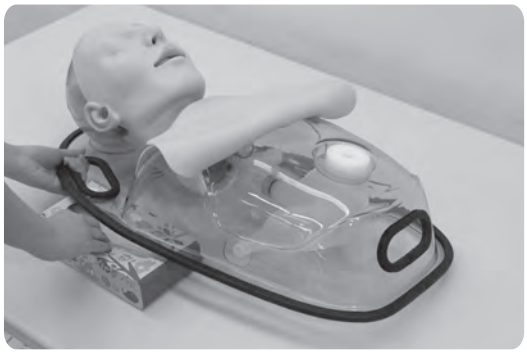
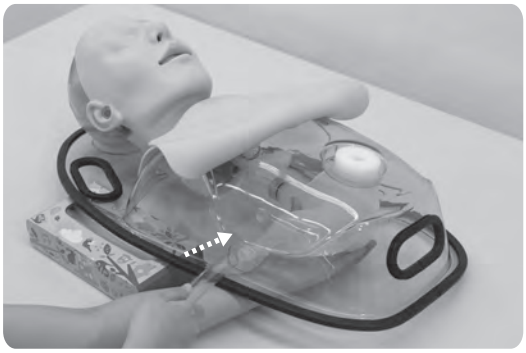
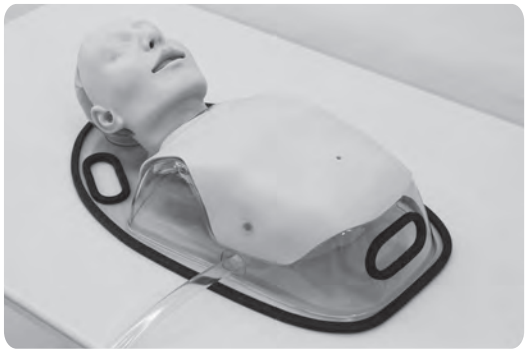


a. Male Torso	1 piece	f. Tube Feeding routes model	1 piece
b. Support Base	1 piece	g. Tube Feeding chest sheet	1 piece
c. Drain Hose	1 piece	h. Plug for drain port	1 piece
d. Funnel	1 piece	Silicone-based lubricant	1 piece
e. Plastic cup	1 piece	Guide book	

1 Training on the bed

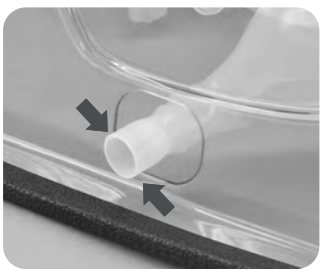
1.Connect the drain hose to stomach parts of the torso model.

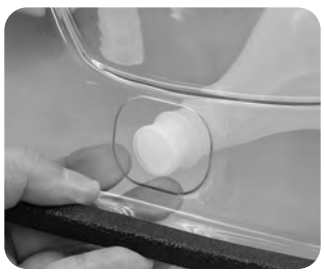
1) Remove the skin on the body in order to see the stomach parts inside.
2) Hold the right side of the torso model and put something (e.g. tissue box) among the left side of the model and the table.
3) Connect the drain hose to stomach parts steadily.

In case training requires to keep the level of water in the stomach while does not require feeding liquid formula to the model, such as use of a bumper type PEG tube or training of confirmation of NG tube placement, close the drain port by the included plug, instead of the drain tube.

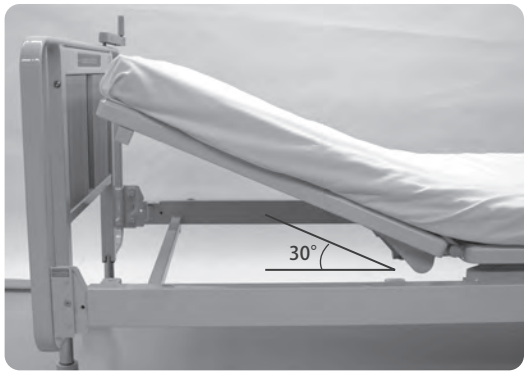
Insert the plug firmly into the drain port of the stomach.

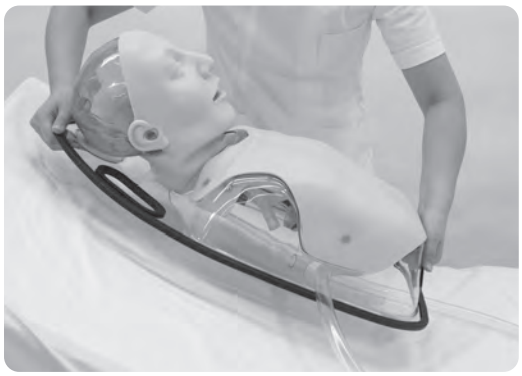

Turn up the rim of the plug.


Ready for training.

1 Training on the bed

2.Set the torso model on the bed reclined 30 degree.





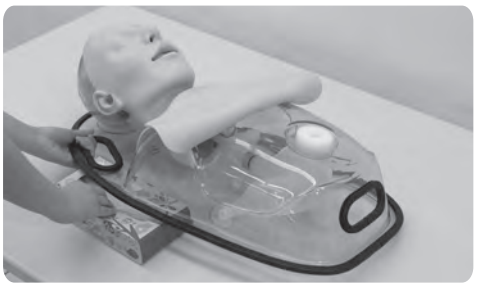
3. Put the end of the drain hose into the bucket.

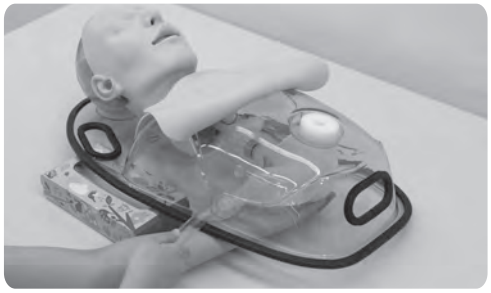
4. Fill the water in the stomach. Insert the funnel into PEG hole and fill about 300cc water. Attach the skin on the model.

2 Training on the table

1.Connect the drain hose to stomach parts of the torso model.

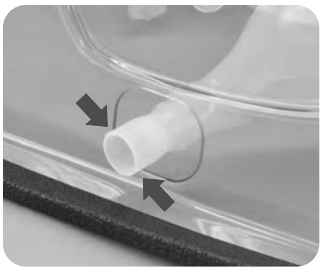
1) Remove the skin on the body in order to see the stomach parts inside.
2) Hold the right side of the torso model and put something (e.g. tissue box) among the left side of the model and the table.
3) Connect the drain hose to stomach parts steadily.



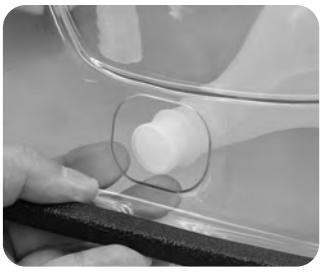


In case training requires to keep the level of water in the stomach while does not require feeding liquid formula to the model, such as use of a bumper type PEG tube or training of confirmation of NG tube placement, close the drain port by the included plug, instead of the drain tube.

Insert the plug firmly into the drain port of the stomach.

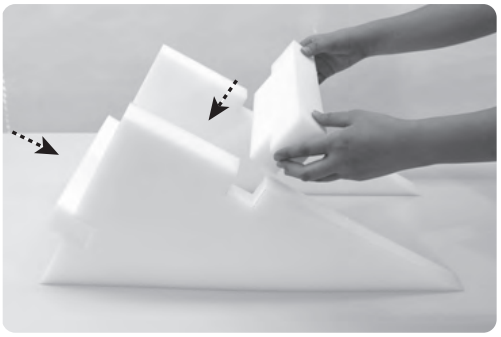


Turn up the rim of the plug.

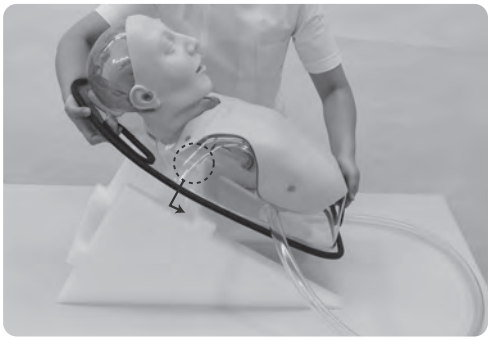


Ready for training.

2.Assemble the support base.



3.Set the model on the support base.

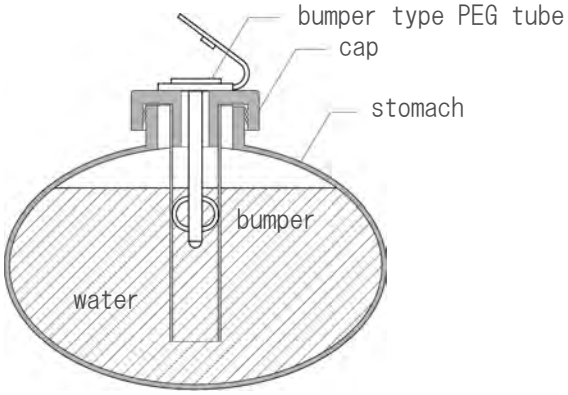


2 Training on the table

4. Put the end of the drain hose into the bucket.

5. Fill the water in the stomach.
   1) Insert the funnel into PEG hole and fill about 300cc water.
   2) Attach the skin on the model.

For using bumper type PEG tube and wish to confirm the placement, use the plug for the drain port of the stomach and fill the stomach with water till the bumper is submerged.



1 Intranasal tube feeding

1.Inserting catheter

Spray the silicone-based lubricant to catheter and also cavity of nose.
Shortage of lubricant will cause it difficult to insert catheter. Do not use the jelly lubricants or other one because it will be dried and remain in the model.

⚠ Caution

We recommend 14 Fr catheters suits for this model. Larger catheter cannot allow the successful insertion.
In this model, catheter will reach to the stomach with 50cm insertion.

2.Tape fixed training of the catheter

⚠ Caution

Do not leave the tapes on the model. If the tape eave on the model for long time, its surface will be sticky with adhesive of tapes.

If you fix the catheter with tape, do not start to inject the nutrient very soon as the tapes are easy to remove. A few minutes later fixing the catheter with tapes, it would be tightly fixed.

2 PEG procedure

1. Fixing PEG catheter

Fix the balloon catheter for PEG by about 5ml air. Do not use water or any liquid.

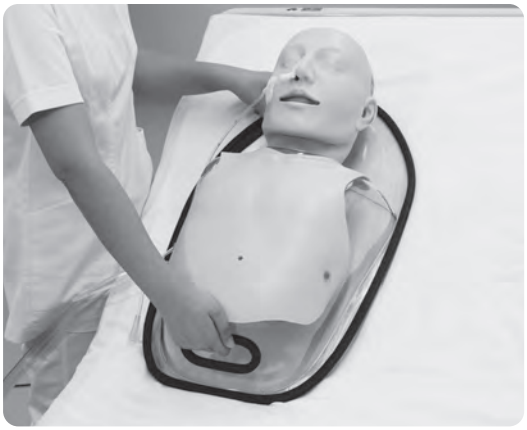
(∗ 5 ml is the guide value for our recommended balloon catheter for PEG “NIPRO 20Fr PEG button catheter”. For other catheter, fill the air not to remove the catheter from PEG hole.)

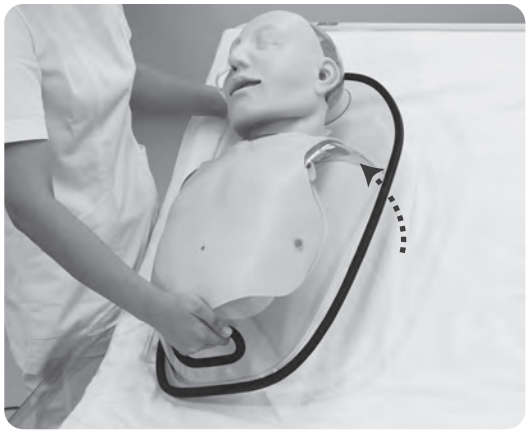
3 After injecting the nutrient

1. After injecting the nutrient

Intranasal tube feeding and PEG procedure, drain the content in the stomach for each injecting of a package of nutrient.

1) Move the model to the edge of the bed.
2) Hold the model with both hand and tip to drain the content.
3) Remove the skin and Pull out the PEG catheter.
4) Remove the skin and fill 300cc water in the stomach again for next training.





After Training

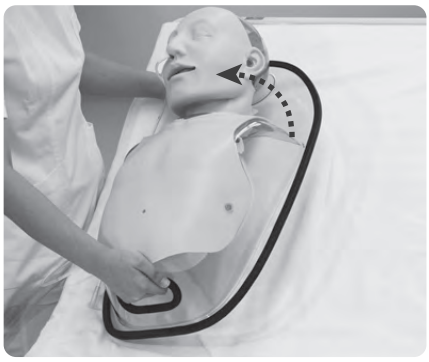
1 Drain the content in the stomach

Drain the content in the stomach when the training finish.

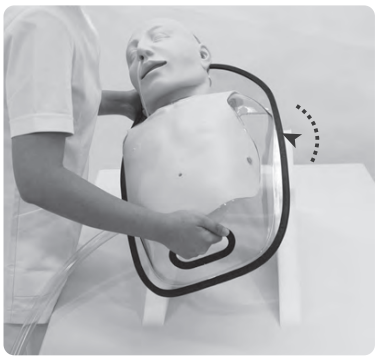
1) Move the model to the edge of the bed or table.

2) Hold the model with both hand and tip to drain the content.

(Training on the bed)

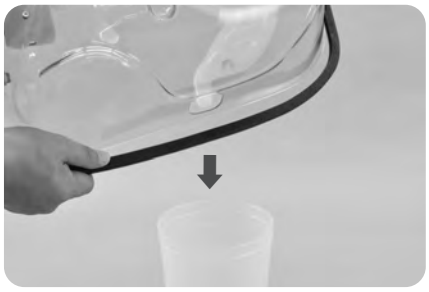


(Training on the table)



After training that uses the plug for drain port

Lift the side of drain porn and pull and remove the plug upwards, while taking care not to spill water. Then tilt the model above a container to discard water from the stomach. Be careful that the discarded water would not flow out of the caching container through the edge guard of the plastic frame.



⚠ Caution Be careful not to slip or drop the model when lifting and tilting it. Use its two hole handles.

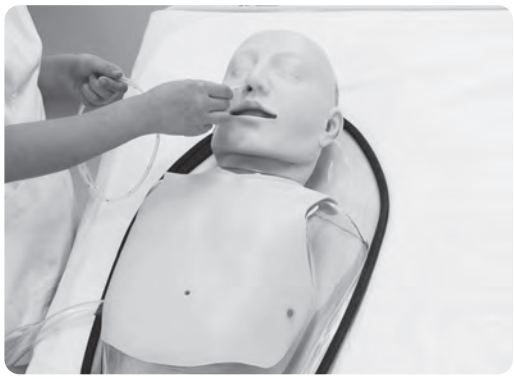
After Training

2 Cleaning the catheter

Before pull out the catheter, do pre-cleaning the catheter and tube.

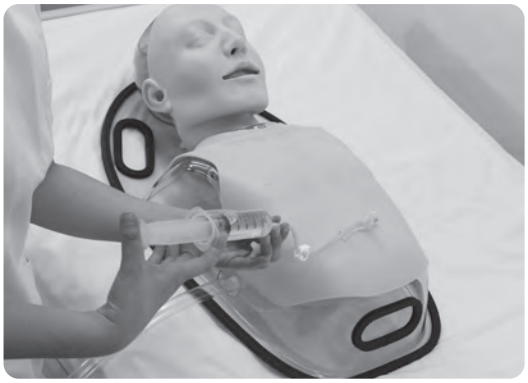
(NG tube)

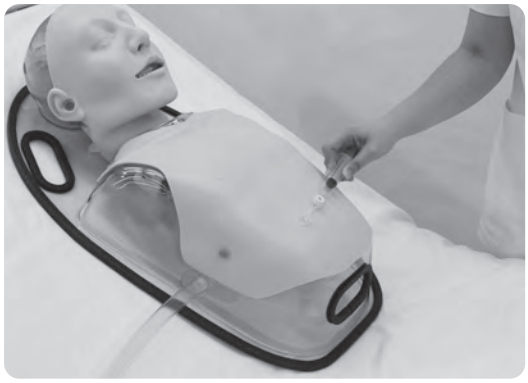
Inject the mild hot water to NG tube by syringe and clean the inside of catheter. Then, pull out the NG tube from the torso model.



(PEG catheter)

Inject the mild hot water to PEG catheter by syringe and clean the inside of tube and catheter. Then, pull out the PEG catheter or tube from the model.





⚠ Caution

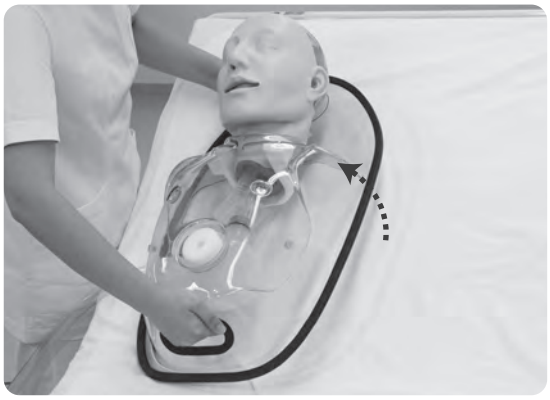
In case of the fixed PEG catheter, insert the syringe to catheter valve and drain the air. Then pull out the PEG catheter carefully from the model.

After Training

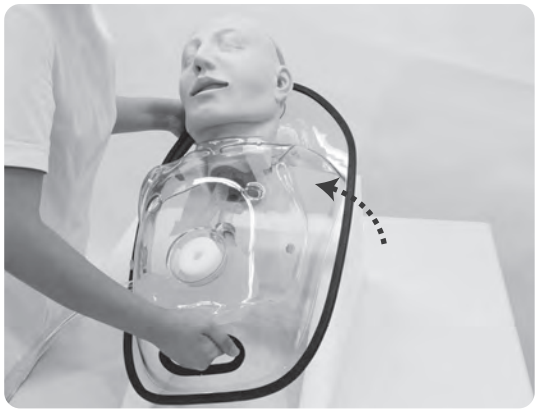
③ Cleaning the stomach and remove the drain hose

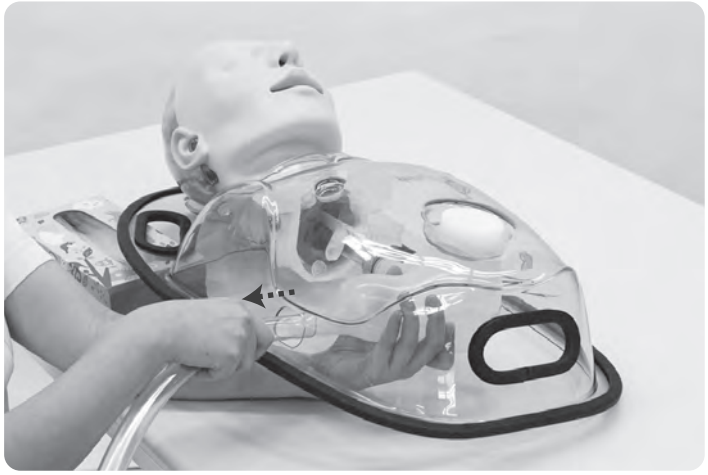
After catheters removed, clean the stomach with mild hot water. Repeat cleaning the stomach until the water does not include nutrients. Then, remove the hose from the stomach part.

(Training on the bed)



(Training on the table)





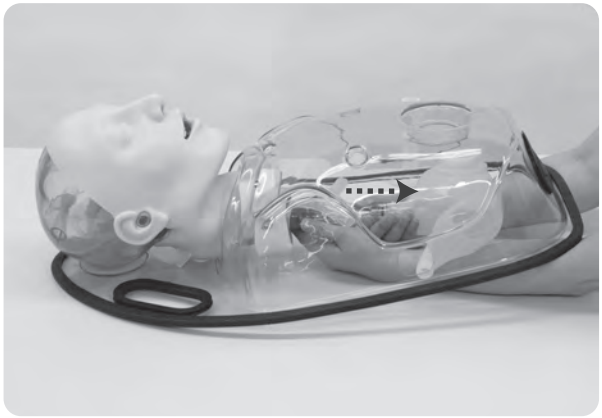
* Removing the stomach part is easier on the table than the bed.

After Training

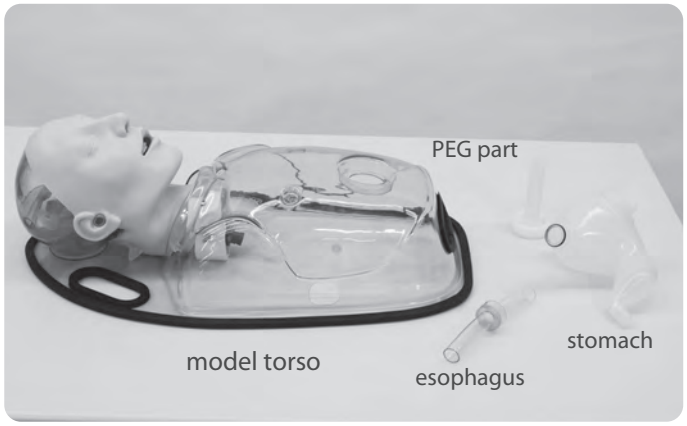
4 Dismantling the parts

1. Dismantle the stomach by twisting the PEG part in counterclockwise.

2. Hold the cervical part from under the model and pull the esophagus from cervical part.



3 .Remove the esophagus from the stomach.



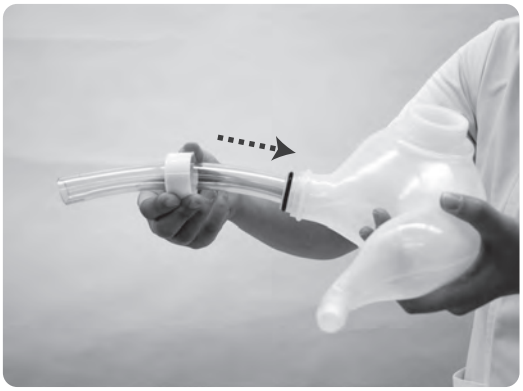
Cleaning

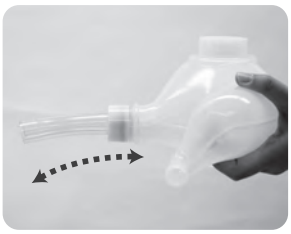
Wash and dry enough the stomach and other parts. Clean the stomach part with sodium hypochlorite if it is needed. (Follow the instruction of antiseptic for how to use it)

After Training

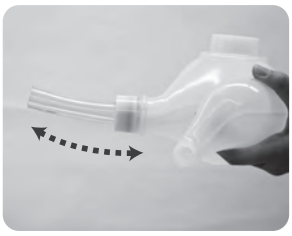
5 Setting the parts

1. Attach the stomach with esophagus as photos below.



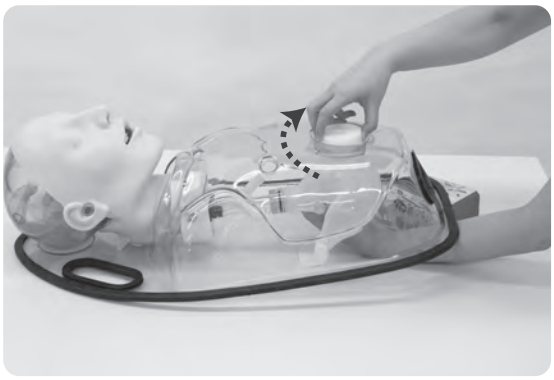


○

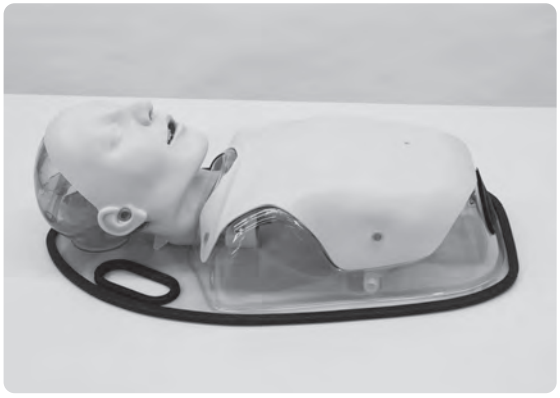


×

2. Insert the esophagus into the cervical part steadily. Then attach the PEG part to the stomach by twisting in clockwise.



3. Put the skin on the model.



Trouble shooting

Quick check-up before calling the customer service. Use the table if you have problems using the simulator. Look in this section for a description of the problem to find a possible solution.

FAQ s

Q. Cannot insert the catheter.

A1. Catheter size may be larger than our recommend.
Use 14Fr catheter for NG and Oral, 20Fr for PEG.
A2. Lubricant may not spray on catheter and nasal passage.
Spray the lubricant (Silicone-based lubricant) to catheter and nasal passage.

Q. Cannot hear the bubble sound in the stomach.

A1. There may be no water in the stomach.
Fill 300cc water in the stomach.

A2. Balloon catheter is not fixed at PEG hole.
Fix the PEG catheter by adding air in balloon.

A3. The esophagus part is not fixed with correct angle.
Confirm the esophagus attachment (page 14).

Q. Cannot aspirate stomach fluid.

A1. NG tube/Balloon type PEG:
There may be no water in the stomach.
Fill 300cc water in the stomach.
A2. Bumper type PEG:
Level of water in the stomach is low.
Add water till the bumper is fully submerged.

Q. Aspirated stomach fluid is muddy.

A1. There may be no water in the stomach.
Drain the content in the stomach for each injecting of a package of nutrient.
Then fill 300cc water.

Q. Cannot remove the pollution of the stomach and drain tube.

A1. The nutrient has not removed at last cleaning and polluted by bacteria.
Switch the stomach or drain hose to new parts.

⚠ 注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにして下さい。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

⚠ Caution

Don't mark on the model and other components with pen or leave printed materials contacted on their surface.
Ink marks on the models will be irremovable.

・For inquiries and service, please contact your distributor or KYOTO KAGAKU CO., LTD.

株式会社 京都科学

URL•http://www.kyotokagaku.com　e-mail•rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■本社・工場
〒612-8388　京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL：075-605-2510（直通）
FAX：075-605-2519

■東京支店
〒113-0033　東京都文京区本郷三丁目26番６号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL：03-3817-8071（直通）
FAX：03-3817-8075

■ Main Office and Factory (World Wide)

KYOTO KAGAKU CO.,LTD

WEB•www.kyotogagaku.com
E-MAIL•rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

15 kitanekoya-cho Fushimi-ku Kyoto 612-8388, Japan
TEL: +81-75-605-2510
FAX:＋81-75-605-2519

■ North and South American regions:

KKAmerica
Kyoto Kagaku America Inc.

WEB•www.kkamerica-inc.com
E-MAIL•info@kkamrica-inc.com

3109 Lomita Boulevard, Torrance, CA 90505-5108, USA
TEL: +1-310-325-8860
(Toll-free in North America: 877-648-8195)
FAX:+1-310-325-8867

The contents of the instruction manual are subject to change without prior notice.
No part of this instruction manual may be reproduced or transmitted in any form without permission from the manufacturer.
Please contact manufacturer for extra copies of this manual which may contain important updates and revisions.
Please contact manufacturer with any discrepancies in this manual or product feedback. Your cooperation is greatly appreciated.

2019.10